

1 正の数・負の数

❖問題❖

→p.10~p.11

問題1 (1) -4 (2) $+2.7$ (3) $-\frac{5}{6}$

問題2 (1)① $+30\text{ m}$ ② -8 m
(2)① $+5\text{ 分後}$ ② -3 kg 増える

問題3 (1) 5 (2) 2.1 (3) 4
(4) $\frac{3}{7}$ (5) $2\frac{1}{5}$ (6) 0

問題4 (1)① $+2, -2$ ② $+0.9, -0.9$
③ $+100, -100$
(2) $+7$ と -7

問題5 (1) $+3 > -4$ (2) $-0.5 < 0$
(3) $-5 > -8$ (4) $-1.8 < -0.8$
(5) $-4 < -2 < +3$ (6) $-6 < -5 < -3$

解説

問題1 $+$, $-$ をつけて表す。 $+2.7$ は今まで使ってきた 2.7 と同じ数である。

問題2 (1) 東が $+$ だから、西は $-$ で表す。
(2) ことばの意味を反対にしたとき、符号を反対にすれば、同じ内容を表すことになる。

問題3 符号をとった数を答えればよい。
(6) 0 の絶対値は 0 である。

問題4 (1) $+$ と $-$ の2つあることに注意する。

問題5 (1) (正の数) $>$ (負の数)
(3)~(6) 負の数は絶対値が大きいほど小さい。
(5), (6) 不等号の向きはそろえて書く。

❖基本問題❖

→p.12

1 (1) $-5, -0.4, -16, -\frac{1}{3}$ (2) $+3, 2$

(3) $-5, -16$ (4) 0

2 (1)① 1500 円の収入 ② 3000 円の支出
(2)① $+20\text{ m もどる}$ ② -12 大きい

(3) $+8\text{ kg}, -15\text{ kg}$

3 $A \cdots +4$ $B \cdots -1$

$C \cdots +0.5\left(+\frac{1}{2}\right)$ $D \cdots -3.5\left(-3\frac{1}{2}\right)$



4 (1)① 12 ② 0.7 ③ 25

(2) $+3$ と -3 , 0.5 と $-\frac{1}{2}$

5 (1) $-5 < +1$ (2) $-\frac{2}{5} > -\frac{4}{5}$

(3) $-2 < -0.5 < 0$ (4) $-9 < -6 < -3$

解説

1 2 や 3.6 は $+2$ や $+3.6$ と考える。

2 (1) $+$ は収入を表すから、 $-$ は支出を表す。
(2) 言葉の意味を反対にするには、符号を反対にすればよい。
(3) 基準の 60 kg より、 68 kg は 8 kg 重く、 45 kg は 15 kg 軽い。

3 1 目盛りは 0.5 である。

B は原点から左に 1 のところにあるから -1 になる。

4 (2) 符号を除いた部分が同じ数のものをさがす。

$$-\frac{1}{2} = -0.5$$

5 (2) 絶対値を比べると、 $\frac{2}{5} < \frac{4}{5}$